

令和7年度 地域連携推進会議

- 1 日時 令和8年3月5日(木) 午後1時30分～午後2時50分
- 2 場所 ヴィレッチたんぼぼ 交流室
- 3 出席者
利用者・・・・・・・・・・1名
利用者家族・・・・・・・・都合により欠席
地域の関係者・・・・・・・・1名
福祉に知見のある人・・・・1名
その他(実習生)・・・・1名
事務局・・・・・・・・・・2名

4 概要

○会議(午後1時30分～)

- ① 開会あいさつ
- ② 出席者紹介
- ③ 地域連携推進会議について
地域と事業所が連携することにより、利用者と地域の方との関係づくり、サービスの透明性・質の確保や、利用者の権利擁護を推進するという開催の目的を説明した。
- ④ 障害や疾病について
精神疾患の種類と症状、精神障害者の方が安定した地域生活を送るために必要なことについて説明を行う。
- ⑤ ヴィレッチたんぼぼの状況
利用対象、利用目的、利用者数、年齢別人数、障害支援区分の状況、日中活動の状況について説明を行う。
施設の職員体制、夜間体制について説明を行う。
- ⑥ グループホームでの生活
利用者の主な1日の流れやグループホームでのプログラム活動について説明を行う。
施設、職員が利用者の方との関わりで心がけていることについて話す。
- ⑦ 質疑応答【施設運営および地域連携について】
(地域での接し方や支援)

委員：利用者の方に、地域としてどのように接し、お手伝いできることがあるか。また、この会議を持つことが利用者の方にとってよいことなのかと思う面もある。

施設：地域の方にグループホームの存在や暮らしを知っていただくことは、障害理解への第一歩だと考えています。利用者の方からは会議開催への否定的な声はなく、アンケート等にも前向きに協力いただけました。今後は、地域と関わりたい方、静かに過ごしたい方、それぞれの希望をうかがっていきます。

(支援における課題)

委員：支援するうえで大変なことはあるか。

施設：一人ひとりの気持ちを尊重しつつ、ご本人が希望する生活や目標に向けて、必要な働きかけや助言を行うタイミングの難しさを日々感じています。

(利用期間と制度)

委員：利用期限はあるか。家賃補助があると、ずっとここにいたいと希望される方がいるのではないか。

施設：制度上の利用期限はありません。入居時に、「自立をめざす」のか、「支援を受けながら単身生活を継続する」のか目的を話し合います。目的を達成し生活力がついた段階で、次のステップ（卒業）へ送り出す支援を行っています。

⑧ 利用者との意見交換

(グループホームでの生活)

委員：グループホームでの生活はいかがですか？

利用者：「ここでの生活も慣れて、皆と楽しくやっています。」

「クリスマス会などのイベントで、皆で集まって食べるのが楽しいです。」

(日常の過ごし方)

委員：趣味はありますか？普段交流室ではどのような話をしていますか？

利用者：「本を読んだり、お風呂に入ったりして過ごしています。」

「交流室でお茶を飲みながら、スーパーの買い物や美容院の話をしています。」

⑨ 会議の感想

- ・当初は「初対面で生活のことを聞いていいのか」と緊張やとまどいがあったが、実際に利用者の方にお会いしてお話ができ、安心することができた。
- ・業務内容だけでは想像しづらいのが現実で、利用者の方が抱える課題などを理解するには至らなかったが、実際に利用者さんとお話できたことはとてもよかった。
- ・小さなおしゃべり会のような雰囲気、聞きたいことを率直に聞けるよい機会となった。
- ・初めは緊張したけれど、皆さんいい方でお話できていい会だった。

○見学（午後 2 時 30 分～）

- ・ヴィレッチたんぼぼの見学